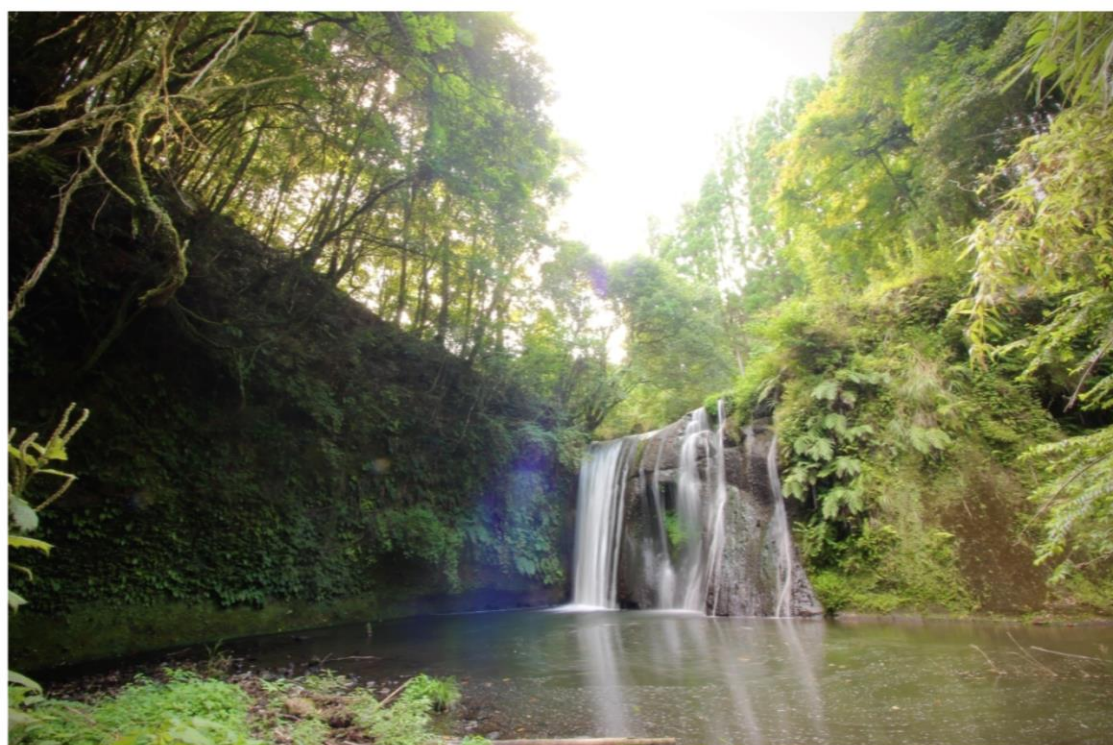


コミュニティまつもと

みんながつながる 笑顔のまつもと



芭蕉滝

矢倉川の上流には素晴らしい景色が広がる

地域計画書

2024年5月

コミュニティまつもと 会長 挨拶



少子高齢化の進展が課題と言われて久しく、竹田市の人口は令和4年に2万人を割り急激な減少傾向にあり、松本地区においても、この20年間で300人以上の人口が減少しています。また、生活様式の向上に伴い、いつの間にか隣近所との希薄化も進んでいるように感じられ、より一層の地域の在り方が問われているように思われます。

このような中、検討委員会・設立準備委員会を立ち上げ2年間かけて『今後の松本地区の運営をどう持続させ、地域を元気にしていくか』を議論してまいりました。委員会メンバーの献身的なご努力に、心より感謝を申し上げます。新たな組織は、今までの縦割りの体制から横の連絡調整も図れ、なるべく地域全体のことを話し合おうという『考える機能』を持った組織となっています。

これからは行政に頼るだけでなく、自分達の住んでいる地域を自分達で楽しく創り上げることのできる組織を目指したいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

コミュニティまつもと
会長 後藤 文康

目 次

～本編～

1. 地域運営組織とは？	1
2. 竹田市での取り組み	1
3. なぜ松本地区が取り組むのか？ ...	2
4. 地域計画書とは？	8
5. 新組織について	9
6. 今後5年間の活動計画	17
7. 新組織設立までの経過	34

～資料～

8. アンケート結果	38
------------------	----

1. 地域運営組織とは？

地域運営組織とは、小学校区等を1つの区域とした総合的な地域組織で、構成員は**地区住民全員**です。地域運営組織では「みんなで」「いろいろなことを」「話し合いを踏まえて」解決していきます。

2. 竹田市の取り組み

2018年3月に市の「地域コミュニティ組織のあり方検討会議」の報告書が出されました。それを受け、松本地区では2021年8月から11月にかけて、各組織へ「地域運営組織にむけての竹田市の方針」の説明を行いました。2021年12月には松本地区福祉懇談会でも説明を行い、丁寧に検討を進めてきました。

検討の結果、**地域の課題解決や人材育成に取り組む新組織の設立に、多くの方から賛同を得ました。**

3. なぜ松本地区が取り組むのか？

(1) 松本地区の現状

松本地区の組織の現状と課題について、以下の3点が挙げられます。

- ① 組織や「役」の見直しを進め、地域の中で組織や団体の情報を整理し、担い手になりたくなるような仕組みをつくる必要があるのではないか？
- ② 小規模自治会の運営をサポートできる仕組みが必要ではないか？
- ③ 人口も若い人も多いが、世代間・多世代交流ができていないのではないかと？

（２）松本地区の組織再編

２０２２年３月には『松本地区「地域コミュニティ」検討委員会』（以下、検討委員会という。）を発足し、**松本地区の課題の把握、地区住民一体となる新組織の設立の必要性**について検討しました。

（３）新組織設立に向けて

検討委員会では、２０２３年３月までに計１１回の会議を実施しました。また、住民アンケートや先進地のリーダーによる講演会、視察研修、地区社協と合同での「よっちはなそう会」も行いました。

２０２３年４月には『松本地区「地域コミュニティ」設立準備委員会』（以下、準備委員会という。）を設立し、新組織の活動計画の検討、準備会だよりでの**広報活動**を行いました。２０２４年２月には、２回目の「よっちはなそう会」を行いました。

そのほか、準備委員会では、新組織の名称やキャッチコピー、今後の新しい活動について検討しました。さらに、住民のみなさまからは、**住民アンケート**を通してたくさんのご意見をいただきました。

（４）新組織に求められる役割と目指すもの

検討委員会や準備委員会で検討を重ねた結果、新組織に求められる役割として、以下の２つを確認しました。

- ① 既存組織や活動の見直し
- ② 松本地区に必要な新しい取り組み・イベントの実施

さらに、準備委員会では、松本地区全体および新組織が目指すものについて、たくさんの意見があげられました。新組織では次のことを目標に活動していきます。



※1

ホタル

※1 この地域計画書の挿絵は、南部小学校６年生のみなさんに制作していただきました。

松本地区が目指すもの

- 住みたいと思える松本
- 支えあい、助け合いができる松本
- 安心安全で住みやすい松本
- 明るく楽しく暮らせる松本

新組織が目指すもの

- 住民一人ひとりの意見を聞く組織
- 全員参加型で仲の良い組織
- 活発で楽しい組織
- 参加しやすい組織

また準備委員会では、組織の再編を検討するうえで、以下の2つのことを大切にして検討してきました。

① 松本地区の住民全員が対象となる事業・仕組みを考える

2022年度に実施した住民アンケートでは、「参加したくても参加できない時間に事業が開催されている」「対象者が高齢者のものばかり」というご意見がありました。

新組織では、若い方を含む松本地区に住む住民全員が、楽しく関わることができる仕組みや組織体制を考えました。

今後も引き続き検討していきます。



石造宝塔



松山寺

② 小規模自治会の運営をサポートできる仕組みを考える

松本地区は、自治会毎の格差が大きい地域です。世帯数で比較しても、下矢倉団地、下矢倉、松円といった自治会は、世帯数も60から100と多い自治会です。一方、10戸以下の小規模自治会もあり、自治会運営に苦慮されています。しかも、10戸以下の自治会は高齢化率がかなり高い状況です。

こうした小規模自治会に地区全体でフォローできる仕組みを考えていける組織の体制を考えました。今後も引き続き検討していきます。



岩瀬の宝塔

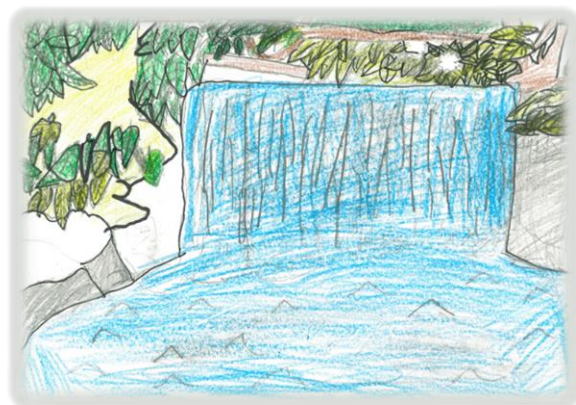
4. 地域計画書とは？

地域計画書とは、準備委員会で検討した内容、住民アンケートやよっちはなそう会でのご意見をもとに作成した、地域づくりのための指針です。

本計画書の期間は、2024年度から2028年度までの**5年間**としています。



岩瀬観音堂



隠れた美しい滝 榎ヶ滝



ホタル



鶴原のメンヒルと柱立神社

5. 新組織について

松本地区の新組織についてご説明します。

(1) 新組織について

新組織の名称

コミュニティまつもと

事務所

竹田市中央公民館松本分館

住 所：〒878-0021

大分県竹田市大字穴井迫662-1

電話番号：0974-63-1068

メールアドレス：mat-1068@oct-net.ne.jp

新組織のスローガン

みんながつながる 笑顔のまつもと

新組織の任期について

四役の任期は2年とします。

新組織の会員（構成員）

新組織の構成員は以下の通りです。

- ① 松本地区に居住する住民
- ② 地区外住民であっても、「会」に携わる関係者で「会」が認めた者を特別会員とする

事務局について

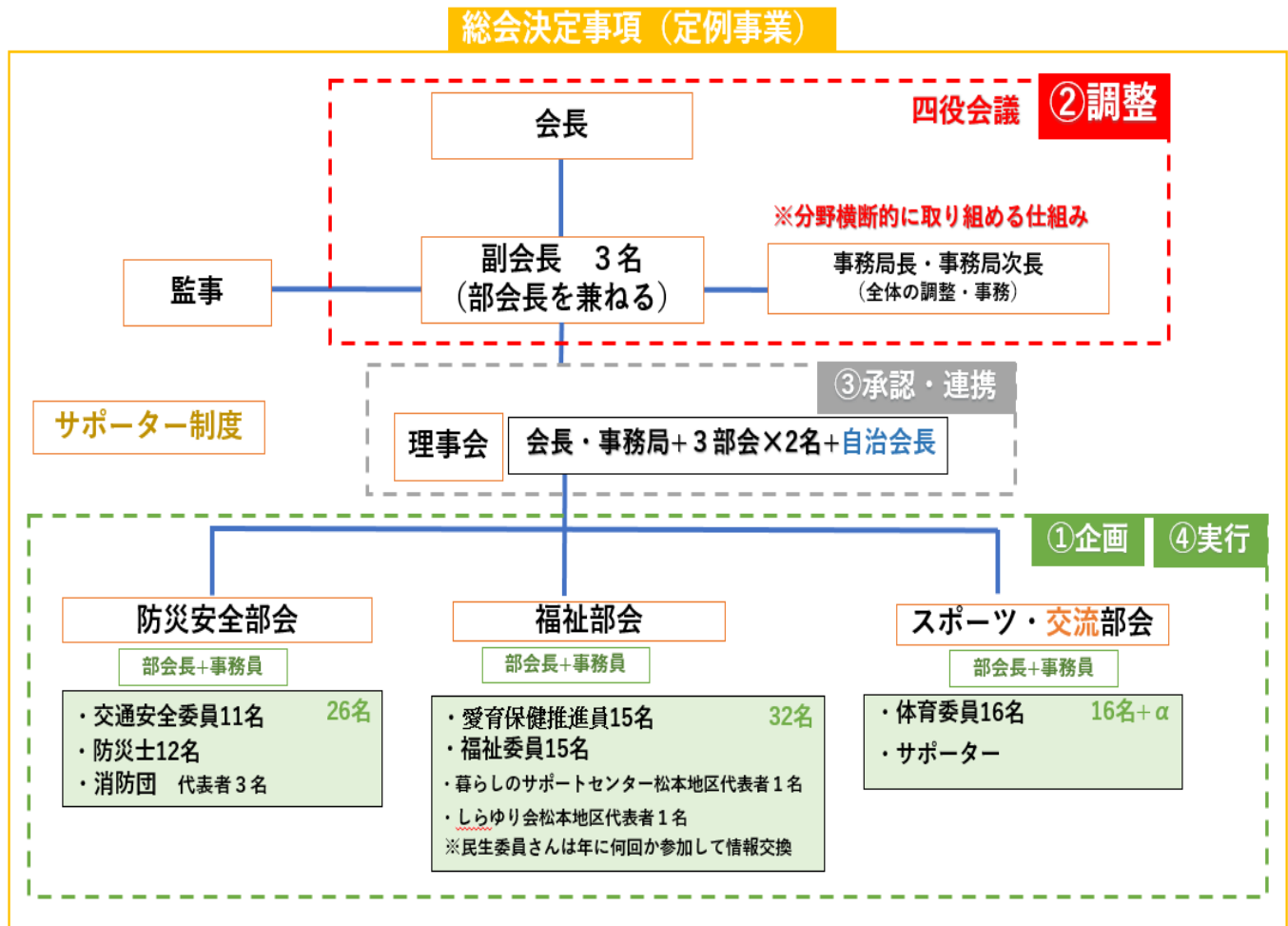
事務局長及び事務局次長で構成する事務局を置きます。事務局次長は、松本分館の分館長が兼任します。



岩瀬観音堂

(2) 新組織の組織図

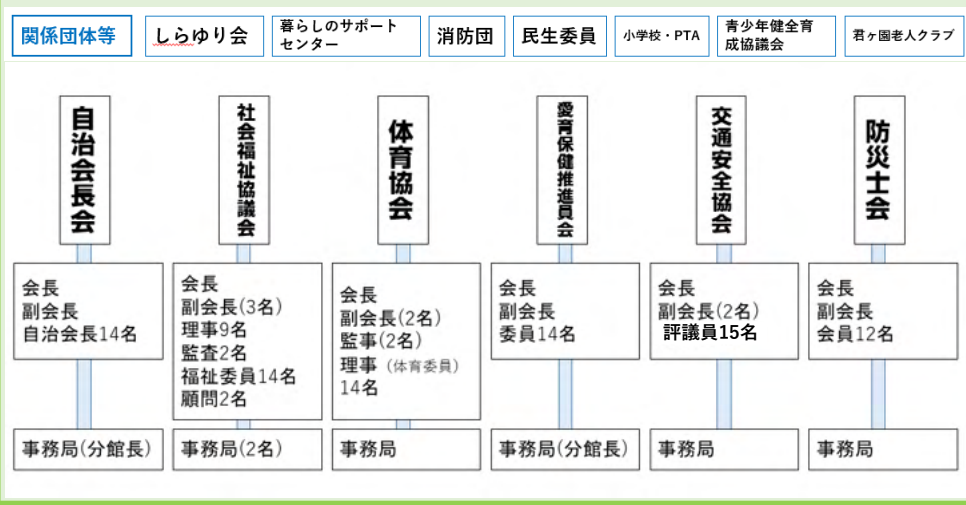
新組織の体制は以下の通りです。



ホタル

松本地区におけるこれまでの組織と
新しい組織による体制の違い！

これまでの方法



何が変わるのかな？
自分たちはどう動けばいいのかな？

組織統合により、いろんな問題を考え、地域の方
みんなで取り組める組織となっています。

ポイント① 部会の編成

手短かに伝えると
すると、

自治会から選出いただいている各種委員は、専門部（3部会）に所属します。部会には、会長（全体の副会長を兼務）と事務員、そして各種委員で構成され、部会活動にあたります。
※必要に応じ、サポーターを参集します。

ポイント② 事務局体制

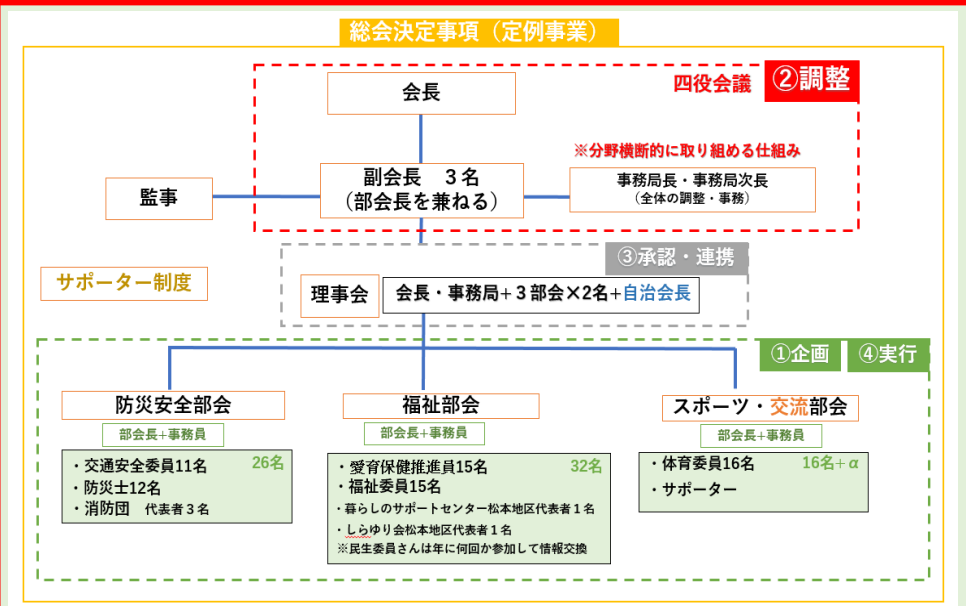
新組織は事務局2名体制とし、組織運営をリードします。部会の事務員と連携・協力をしながら専門部会をサポートします。

ポイント③ 分野横断的な仕組み

既存組織では事業消化することだけで精いっぱいでしたが、新組織では事業の見直しや地区の課題に対して対応できるよう四役会議で『調整』をしていきます。そのようなことから、優先順位を全体で決め、重要事項は**全体**で連携・調整ができる仕組みとなっています。
（各部会長が全体副会長を兼ねています。）

新しい組織はこんな風になるんで～

新しい方法



※別紙「組織図」を参照ください。

(3) 組織図の解説

総会

総会は、**最高決議機関**とし、事業計画、事業報告、収支予算及び決算に関する事項、地域計画の策定及び見直し、役員の選任、規約の変更や役員の委任に関する事項など、**重要事項の決定**を行います。

会長

松本地区全体から選出します。

副会長

部会長が副会長を兼任します。

事務局長・事務局次長

松本地区全体から選出します。組織全体の庶務を行います。四役会議・理事会の事務局となり、また事務局次長は分館長が兼任します。

四役会議

会長・副会長・事務局長・事務局次長（以下、四役という。）で行う会議のことです。総会決定事項である年間計画や地域計画を推進する上で、**全体調整**をし、**部会との連携**を行います。

理事会

四役、各部会の事務会計係、そして各自治会長で構成されます。必要に応じて、サポーターの招へいを行います。

主に、新規事業・見直し事業の承認や各種議題の承認を担います。詳細については18ページに記載しています。

サポーター制度

イベント等で、ご自身の得意分野で協力いただける方にサポーターとしてお手伝いいただく制度です。**任期は1年に限定せず、必要な期間**と考えています。

関係団体

民生委員や消防団、行政機関、暮らしのサポートセンターやしらゆり会等、適宜必要に応じて四役会議・部会等に参加の協力をお願いしていききたいと思います。

部会

部会事業及び提案・承認事業の実行を行います。**分野横断的な事業を行う**時もあります。

部会長は、新組織副会長と兼任となり、各部会には事務会計係を配置します。

新規事業・見直し事業については、**部会と四役会議でしっかり連携・調整**を図っていきます。

中心となる部会は福祉部会、防災安全部会、スポーツ・交流部会の3つです。詳細については19ページ以降に記載しています。



森八幡社

福祉部会

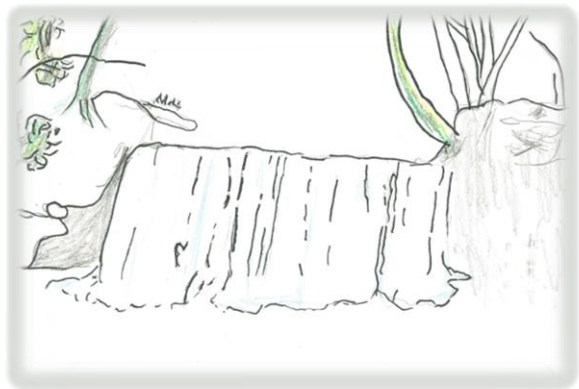
福祉部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 安心して生活できる
- 子ども・高齢者が楽しく暮らせる
- 心と身体の健康を推進できる

防災安全部会

防災安全部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 「安心、安全」
- 新しい防災活動
- 交通安全の意識を高めていく



たき

スポーツ・交流部会

スポーツ・交流部会では、以下のことを目指して活動を進めていきます。

- 全世代でつながりの連鎖
- つながりの輪



柱立神社



ホタル



岩瀬観音

6. 今後5年間の活動計画

準備委員会では、各部会の今後5年間の活動計画について検討を行いました。各部会では、まず「自分たちがこの活動であれば取り組みそう」と思う活動、「この活動は3年以内にしたいほうが良い」「すぐにはできないけど5年以内であれば取り組みそう」と思う範囲で検討しています。

詳細な内容や新規の活動、既存の活動の見直しについては、各部会で引き続き検討をしていきます。また、松本地区の代表的な行事である「弓まつり」についても改めて検討しました。



生態系に配慮した
農業農村整備事業



ホタル

(1) 理事会

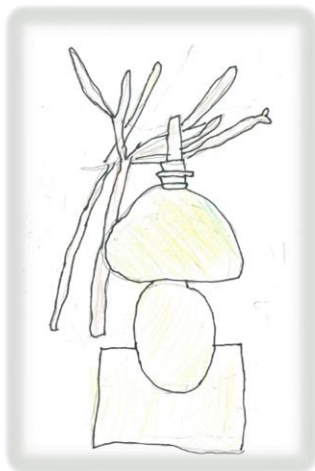
目指すもの

- 持続可能な3世代交流「安心、安全」
- 各部会の横のつながりをサポートする

活動について

理事会が主として実施する活動はありませんが、理事会として各部会の活動スケジュール、松本地区全体のスケジュールを把握・管理します。

理事会の中で役割分担をし、必要に応じて各部会活動に参加します。



岩瀬観音堂



柱立神社

(2) 福祉部会

活動について

スケジュール (案)

福祉委員・・・青
民生委員・・・黄

愛育保健推進委員・・・赤
しらゆり会・・・緑

1月	2月	3月
配食サービス (調査と配布)		
料理教室	健康福祉の集い	
高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)
民生委員の定例会		
4月	5月	6月
		合同会議
福祉委員の研修会		
高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)
民生委員の研修会		
民生委員の定例会		
7月	8月	9月
竹田市全体の研修会	ゴミフオーキング	けんじゅかい 健寿会(案)(旧:敬老会)
料理教室	巡回検診	
高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)
民生委員の定例会		
10月	11月	12月
	竹田市全体の研修会	料理教室
民生委員の定例会	配食サービス	
高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)	高齢者の見守り (福祉委+民生委)

※随時の活動…各自治会の食推の活動（おしゃべりサロンに入る地区が対象）。

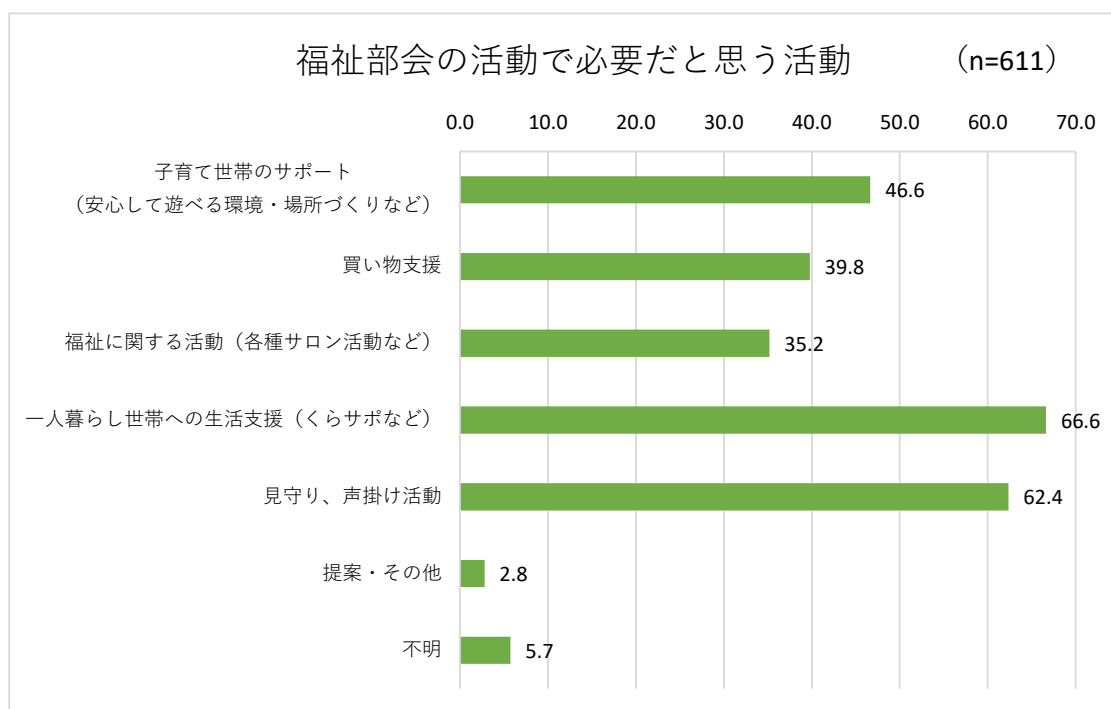
※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

新規活動

①くらサポの活動対象者の拡大

目的
活動を通して、交流の場を増やす
活動内容
・幅広くあらゆる世代の方に参加していただけるような雰囲気づくり。

また2023年度に実施した住民アンケートでは、「福祉部会の活動で必要だと思う活動」についてお聞きしました。



以上のアンケート結果の内容も踏まえて、活動していきます。

(3) 防災安全部会

活動について

スケジュール (案)

防災士会・・・青 交通安全協会・・・黄		
1月	2月	3月
	小学校・支援学校・南部中学校との防災に関する研修会	
	防災士スキルアップ研修会	
早朝街頭指導	早朝街頭指導	早朝街頭指導
4月	5月	6月
		部会運営会議
早朝街頭指導	早朝街頭指導	早朝街頭指導
7月	8月	9月
		総合防災訓練
		避難訓練 (南部小学校)
夏の事故ゼロ運動		全国秋の交通安全運動
早朝街頭指導	早朝街頭指導	早朝街頭指導
10月	11月	12月
まち歩き※時期未定 (防災士+交通)	防災士養成研修	大分冬の事故ゼロ運動
早朝街頭指導	早朝街頭指導	早朝街頭指導

※随時の活動…地域や小中学校に呼ばれて講話を実施していきます。

※毎月の「早朝街頭指導」は、回数、人数、場所について今後検討していきます。

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

※詳細については、部会運営の中で決めていきます。

交通安全委員（旧：協会評議員）の選出について

従来通り、各自治会からの選出ではありますが、おおよそ10戸以下の小規模自治会や自治会運営が困難な自治会については、委員の選出ができない理由を確認し、調整を行います。

選出できない自治会が増えた場合については、次の方法での選出を検討します。

- ①人口の多い自治会から選出
- ②松本地区全体をいくつかのグループに分けて、グループごとで選出



ホタル



隠れた美しい滝 榎ヶ滝

新規活動（防災について）

①学校と防災教室

目的
災害時の被害を最小限に！
活動内容
児童に安心安全な学校生活を送ってもらうため防災訓練などをしてもらう。

②学校主催の避難訓練に参加

③教育講演会を活用

④避難所体験

（実際にテント等を準備して行う）

※①～④の活動については、5年間の間に体制を構築し、実施していきます。

新規活動（交通安全について）

①街頭指導の人員配置について

見直し案
小中学校や住民の意見や希望を聞きながら立つ場所を検討。

②各学校と連携した交通安全教室

目的
子どもたちに交通安全の意識を高めてもらう。
活動内容
・各学校で年に1～2回交通安全教室を開催（自転車の乗り方指導や大型車の死角体験教室など）。

③交通安全啓発活動

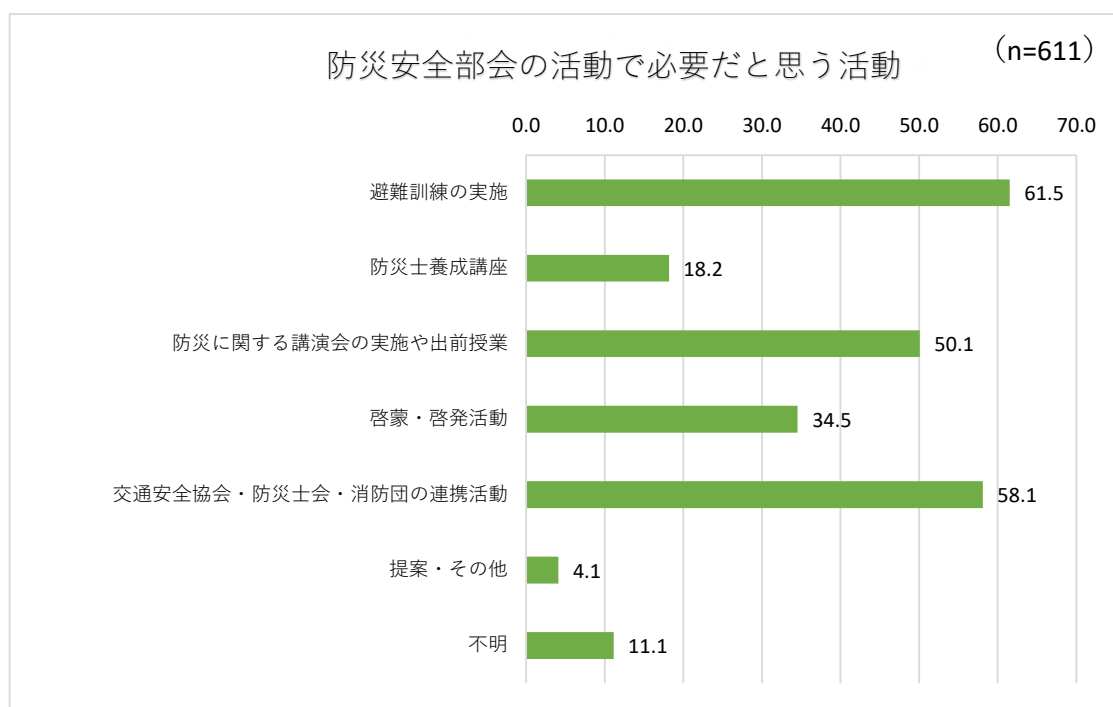
目的
松本地区全員の交通安全の意識を高める。
活動内容
・啓発グッズの配布。

④交通安全の講習会

目的
松本地区全員の交通安全の意識を高める。
活動内容
・地元に密着した警察の話、身近な話をしてもらうように工夫（75歳以上の車のライトをつけずに運転している方を対象とした講習会や免許を持っている方を対象にした講習会の開催など）。

※①～④の活動については、5年間の間に体制を構築し、実施していきます。

また2023年度に実施した住民アンケートでは、「防災安全部会の活動で必要だと思う活動」についてお聞きしました。



以上のアンケート結果の内容も踏まえて、活動していきます。



榎ヶ滝

(4) スポーツ・交流部会

スケジュール（案）

1月	2月	3月
4月	5月	6月
		球技大会
7月	8月	9月
	花火大会 (開催未定)	
10月	11月	12月
グラウンドゴルフ大会	市内一周駅伝大会 (11月末から12月上旬)	
お菓子作り	昔の遊びを伝える会	軽スポーツ大会

※上記は計画段階のため、変更する可能性があります。

新規活動

①球技大会、軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会の見直し

見直し案
・1つにまとめて開催を検討。 ・全年齢対象にしているので、年齢別などグループを分けることも検討（若者同士、高齢者同士で対抗など）。

②老人クラブとの調整・連携

見直し案
・名前を「交流クラブ」などに変えて、「みまもりクラブ」などの様々なクラブを作って年齢を問わない仕組みの構築の検討。

若者交流会や準備委員会で出た新規活動（案）

以下、若者交流会や準備委員会で出た新規活動の案です。

- ・花火大会
- ・夜市の開催（出店あり）
- ・子ども神楽
- ・昔の遊びを伝える会
- ・お花を育てる会
- ・お菓子作り
- ・飲み会やバーベキューなどの親睦会
- ・若者主催イベント
- ・魚釣り会
- ・キャンプ
- ・放課後松本クラブ
- ・学校を活用した行事
（校舎や学校行事との連携を活用）
- ・自治体対抗球技大会
- ・おしゃべりサロン

準備委員会では、上記の活動の中から3つ選択し、「この活動であれば取り組みそう」「3年以内にしたほうが良い」「すぐにはできないけど5年以内であれば取り組みそう」という趣旨で、目的や活動内容、時期を検討しました。

①お菓子作り

目的	
親子同士の交流。	
活動内容	実施時期
親子、地域の人とお菓子作り。	1年目の10月（ハロウィンの時期に合わせて開催）。

②昔の遊びを伝える会

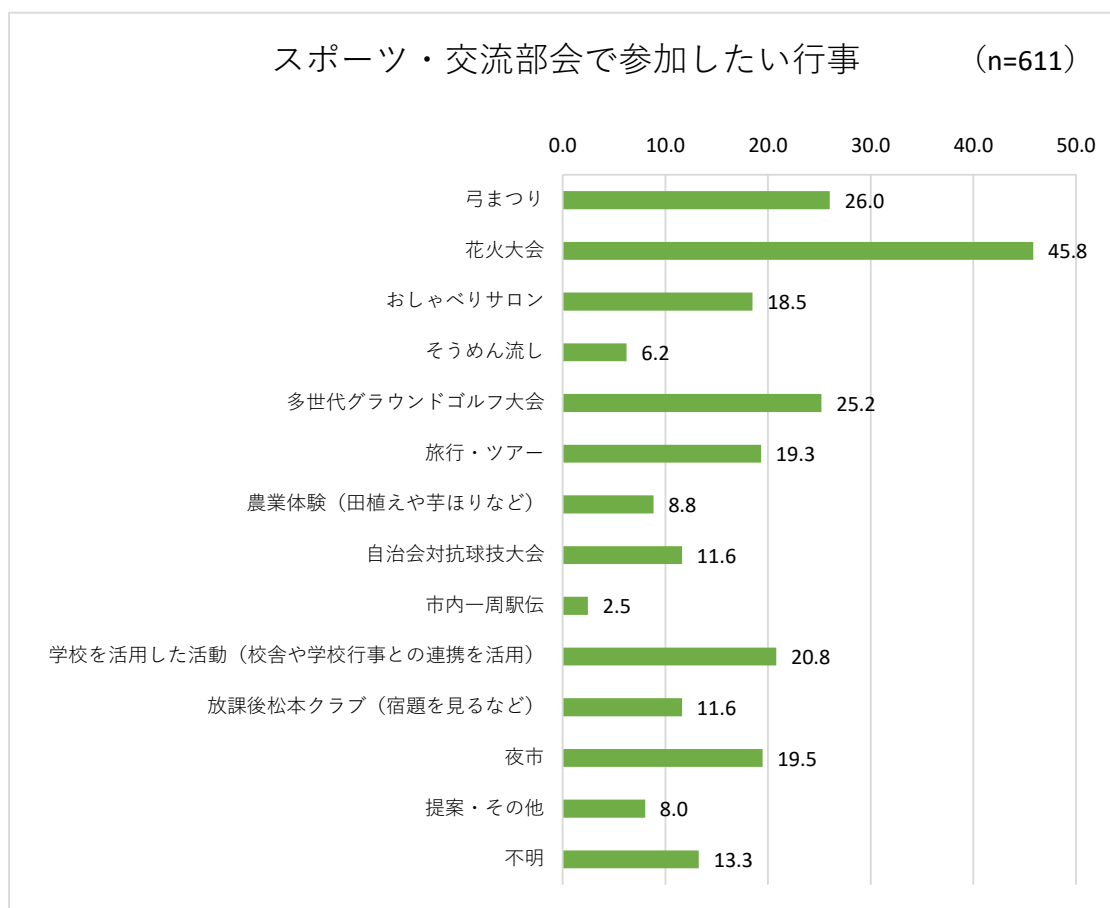
目的	
世代交流。	
活動内容	実施時期
昔の遊びを伝える。	南部小と連携し開催。

③松本地区全体でおしゃべりサロン

目的	
他地区間の交流。	
活動内容	実施時期
サロン活動の内容など。	4月くらいの温かい時期。

※①～③の詳細については、今後検討していきます。

また2023年度に実施した住民アンケートでは、「スポーツ・交流部会で参加したい行事」についてお聞きしました。



以上のアンケート結果の内容も踏まえて、活動していきます。

(5) 弓まつり

準備委員会では、松本地区の行事のひとつである「弓まつり」について、今後の開催方法などの検討も行いました。

新組織では引き続き、弓まつりの開催方法や出し物などの検討をしていきます。

弓まつりとは？

なぜ「弓」を使った行事が開催されているかというと、松本地区には「源為朝伝説と森八幡」という伝説があるからです。以下、「源為朝伝説と森八幡」のお話です。

「弓の名人」として知られる為朝は、小さい時から力が強く乱暴者だったので、父の為義が心配し、ついに16歳の時に、家来1人をつけて九州に追いやられてしまいました。

尼崎から船に乗り豊後の国（大分）の港に着きました。野山を越えて竹田の赤岩峠に差し掛かった時、四方を眺めると阿蘇・久住 祖母の美しい山並みに囲まれた一帯は、よく肥えた農地があり五穀が実り、樹木も生い茂る豊かな土地でありました。

為朝は、このような土地に住んで勢力を伸ばしたいと思い、強い弓に矢を番え力いっぱい引いて矢を南に向け放つと、松本の大松の根元に刺さったということです。

ここに森八幡社を建立し、源氏ゆかりの鶴ヶ岡八幡宮の分神を祀ったといわれています。「松本」の地名も、この伝承によって名付けられたということです。

※弓を射た場所として、「騎牟礼城（古城）」という説もあります。

参考文献：「森八幡社由緒書」

以上の伝説から、「弓」を使った楽しい行事をやってみようという事になり、平成3年に「弓まつり大会」が開かれました。

弓まつりの目的

準備委員会では、改めて弓まつりの目的について検討を行いました。新組織の弓まつりでは、以下の3つの目的とし、企画・運営を行っていきます。

- ①歴史を学び、地域振興を目的とし、次世代（若い人）につなぐ。
- ②若い人に松本地区（弓まつり）について知ってもらい、郷土愛、愛着を持ってもらう。
- ③世代間や地域間の交流を図る。

開催メンバー

新組織で考えられる弓まつりは、以下のメンバーで開催を検討しています。

- 各部会より2名ずつ選出
- 理事会メンバー

また、協力団体としてサポーターやボランティアスタッフの募集を検討しています。

規模について

現状の規模での開催を検討しています。



岩瀬観音



森八幡社

(6) 広報について

新組織では松本地区全員に、松本地区のことを知っていただくため、広報活動（広報誌や SNS での発信など）にも取り組んでいきます。

引き続き、運営体制を整えていきます。



生態系に配慮した
農業農村整備事業



ホタル



岩瀬の宝塔

7. 新組織設立までの経過

(1) 竹田市の経過

日付	内容
2018年12月	「地域コミュニティ組織のあり方検討会議」の検討および報告書の作成
2020年12月	「地域コミュニティモデル地区形成ビジョン」の策定

(2) 松本地区の経過

日付	内容
2021年8～11月	松本地区の各組織へ「地域運営組織にむけての竹田市の方針」について説明
2021年12月	松本地区福祉懇談会へ「地域運営組織にむけての竹田市の方針」について説明
2022年2月	各自治会へ「地域運営組織にむけての竹田市の方針」について説明
2022年3月	松本地区「地域コミュニティ」検討委員会の発足
2023年3月	松本地区「地域コミュニティ」設立準備委員会の発足

(3) 検討委員会の経過

以下、検討委員会の経過となります。

- 検討委員会（毎月1回）・・・計11回※²
- 役員会（毎月1回）・・・計12回

2023年の3月に地区社協と合同で「よっちはなそう会」を開催いたしました。

(4) 準備委員会の経過

以下、準備委員会の経過となります。

- 準備委員会（毎月1回）・・・計12回
- 役員会（毎月1回）・・・計18回※³

2024年の2月に地区社協と合同で「よっちはなそう会」を開催いたしました。

※² 第8回検討委員会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

※³ 9・10・12月に臨時役員会、2月によっちはなそう会に向けたリーダー研修会を開催いたしました。

(5) 検討委員会メンバー

氏名	所属	検討委員会 役職
後藤 文康	R3 地区社協会長	会長
後藤 季雄	くらサポ会長・地区社協副会長	副会長
山室 哲一	民生委員会長・地区社協副会長	副会長
工藤 裕二	自治会長会長・地区社協副会長	副会長
後藤 清	前松本分館長	事務局長
後藤 新一	松本分館長	事務局次長
工藤 伸吾	地区社協会長	
後藤 國太	しゃんしゃん会前会長	
衛藤 頼光	老人クラブ事務局長	
後藤 義文	前防災士会会長	
工藤 久恵	前愛育保健推進員会長	
伊東 竹美	くらサポ事務局長	
佐田 繁子	健全育成事務局	
後藤 文子	主任児童委員	
後藤 治一郎	愛育保健推進員会長	
松田 浩二	体協会長	
松田 民子	R3 しらゆり会会長	
甲高 幸一	教育委員	
古森 佳代	前南部小 PTA 会長	
岡崎 佳代	地区社協事務局長	
古庄 洋二郎	竹田市消防団第3分団部長	
吉野 清	自治会長会副会長	
阿南 智博	竹田市議会議員	
後藤 建一	竹田市議会議員	

(6) 準備委員会メンバー

氏名	所属	準備委員会 役職
後藤 文康	令和4年度検討委員会会長	会長
後藤 季雄	くらサポ会長	副会長
後藤 治一郎	自治会長会副会長	副会長
工藤 久恵	地区社協事務局長	副会長
後藤 文子	前主任児童委員	副会長
後藤 清	前松本分館長	事務局長
後藤 新一	松本分館長	事務局次長
吉野 清	自治会長会 会長	
山室 哲一	前民生委員会会長	
工藤 裕二	松本地区社会福祉協議会 会長	
衛藤 頼光	老人クラブ事務局長	
後藤 義文	前防災士会会長	
伊東 竹美	くらサポ事務局長	
佐田 繁子	竹田しゃんしゃん会 会長	
松田 浩二	松本地区体育協会 会長	
甲高 幸一	教育委員	
古森 佳代	竹田市 PTA 連合会 会長	
岡崎 佳代	前地区社協事務局長	
安倍 大助	竹田市消防団第3分団 部長	
阿南 智子	主任児童委員	
渡部 恵美	前福祉委員	
阿南 智博	竹田市議会議員	
後藤 建一	竹田市議会議員	

8. アンケート結果

以下、2023年度に実施したアンケート調査の結果となります。

(1) 年齢別人口データ

(2024/3/31時点)

年齢（歳）	男性（人）	女性（人）	計（人）
0～14	65	70	135
15～64	266	265	531
65～74	97	95	192
75以上	83	152	235
合計	511	582	1,093

①人口・・・1,093人

②高齢者（65歳以上）・・・427人

③高齢化率（65歳以上）・・・39.0%

④後期高齢者（75歳以上）・・・235人

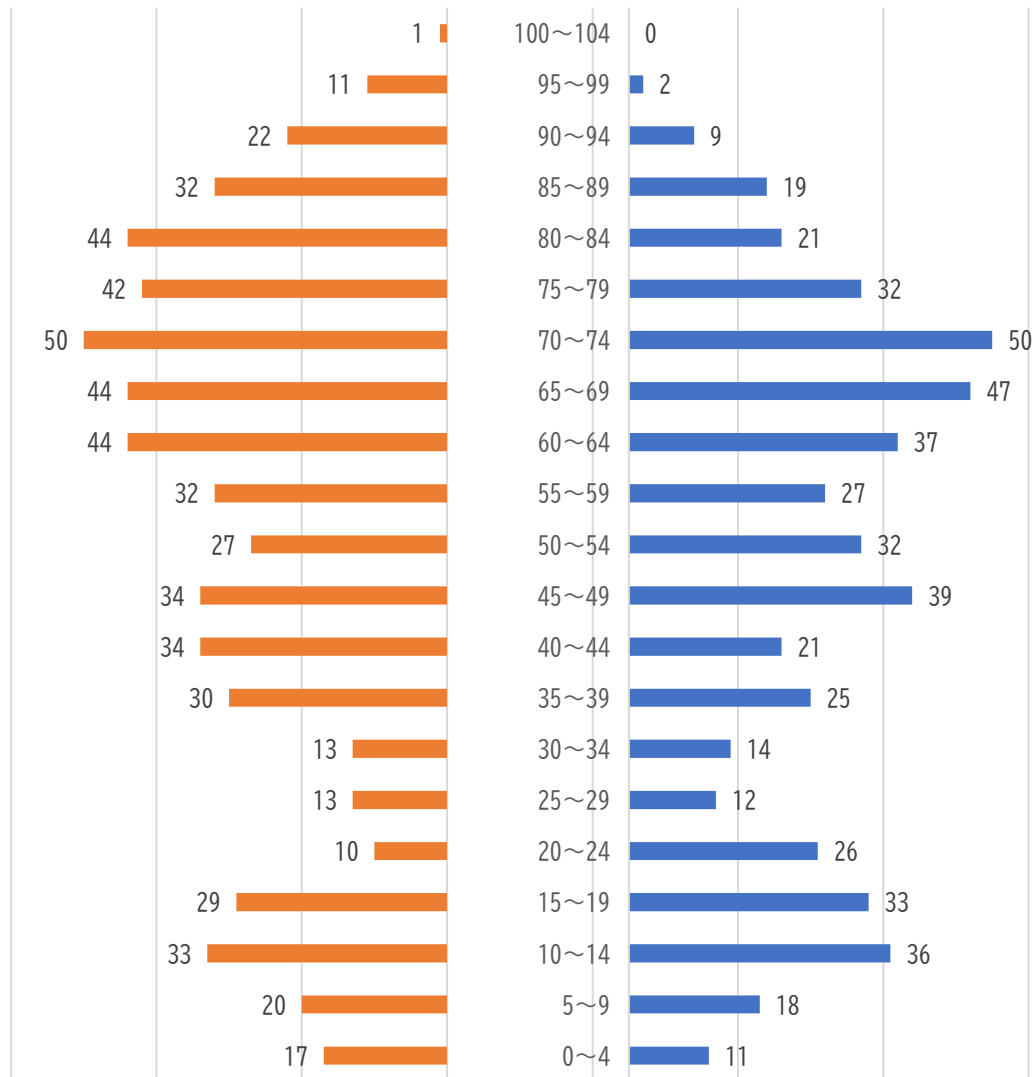
⑤後期高齢化率（75歳以上）・・・21.5%

(2) 年齢別人口（2022/3/31時点）

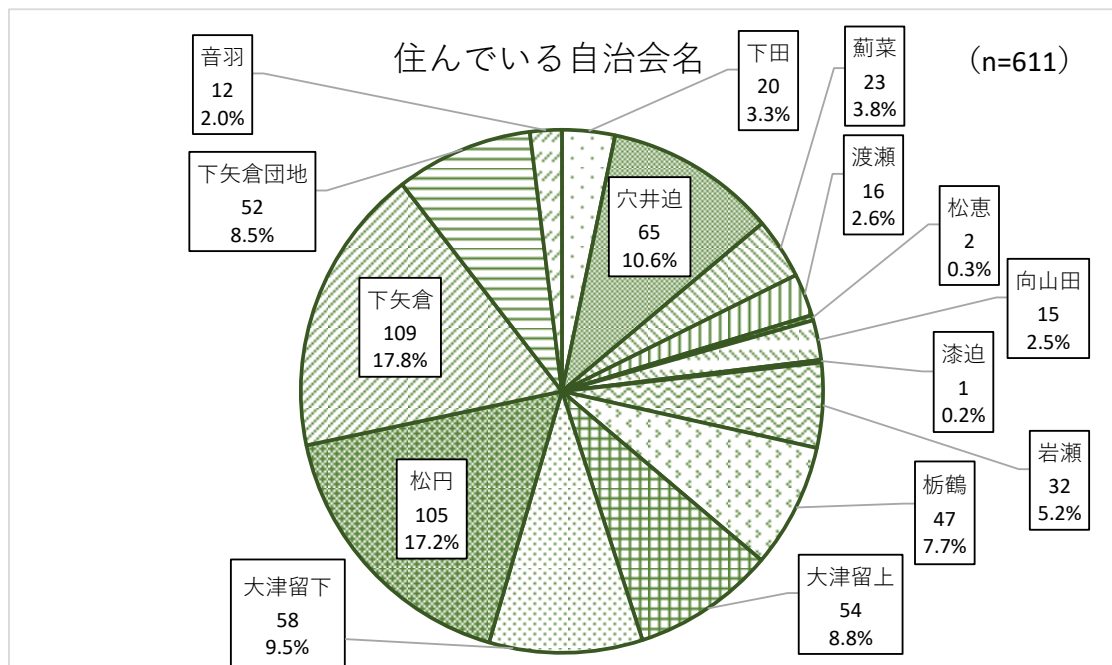
年齢(歳)	男性 (人)	女性 (人)	合計 (人)
0～4	11	17	28
5～9	18	20	38
10～14	36	33	69
15～19	33	29	62
20～24	26	10	36
25～29	12	13	25
30～34	14	13	27
35～39	25	30	55
40～44	21	34	55
45～49	39	34	73
50～54	32	27	59
55～59	27	32	59
60～64	37	44	81
65～69	47	44	91
70～74	50	50	100
75～79	32	42	74
80～84	21	44	65
85～89	19	32	51
90～94	9	22	31
95～99	2	11	13
100～104	0	1	1

人口ピラミッド（松本地区全体）

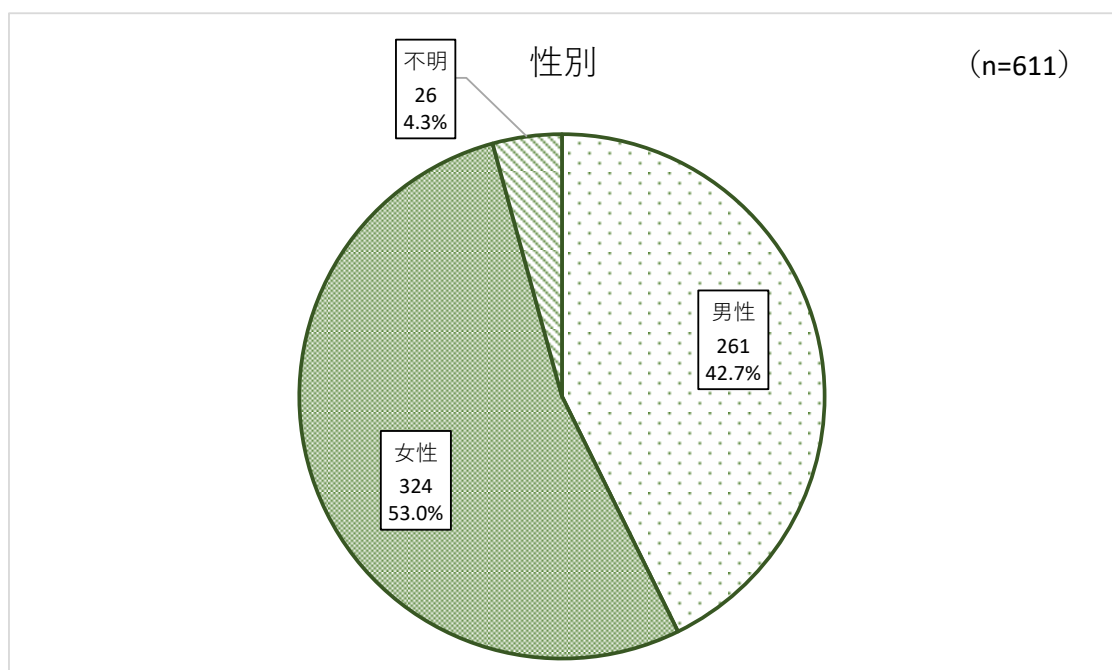
■男性 ■女性



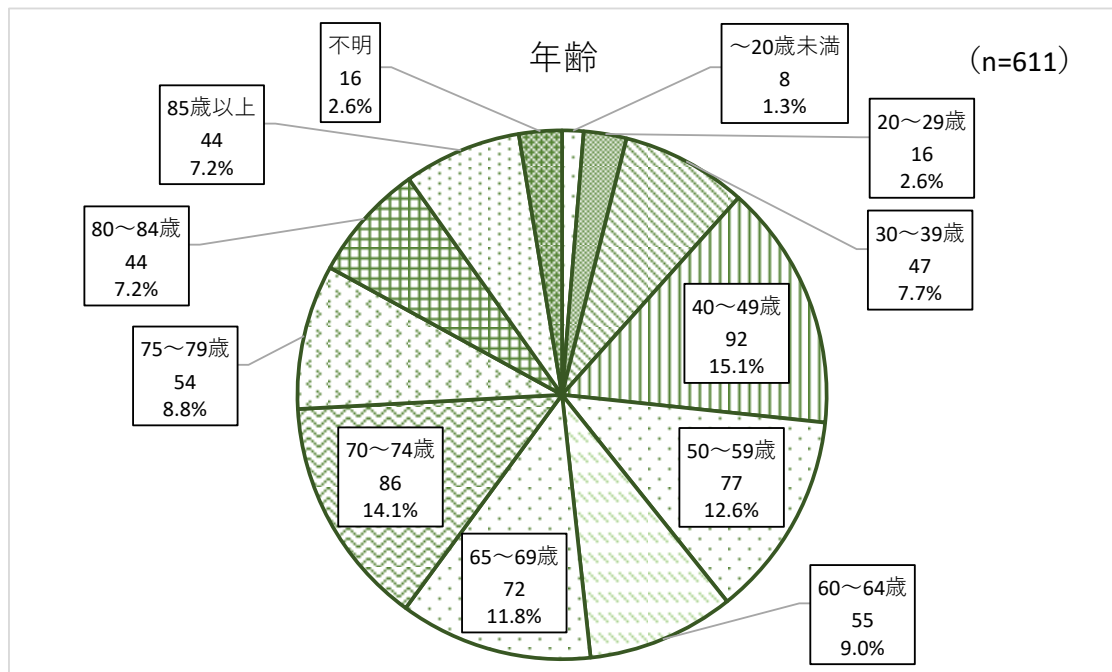
(3) 住んでいる自治会名



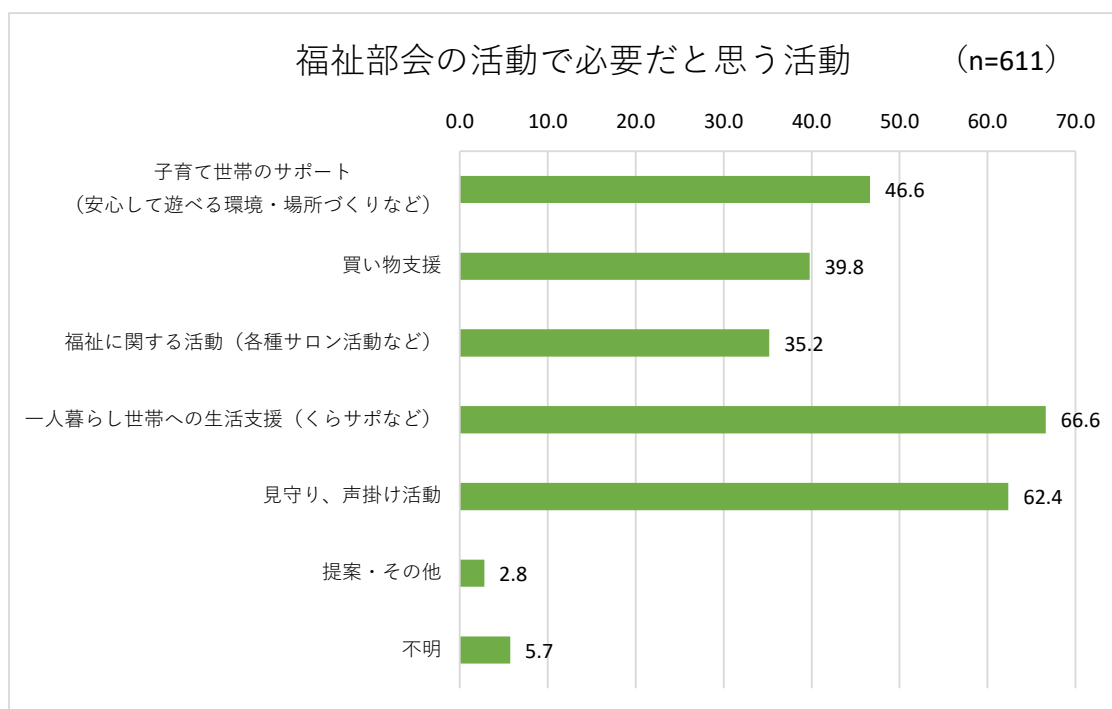
(4) 性別



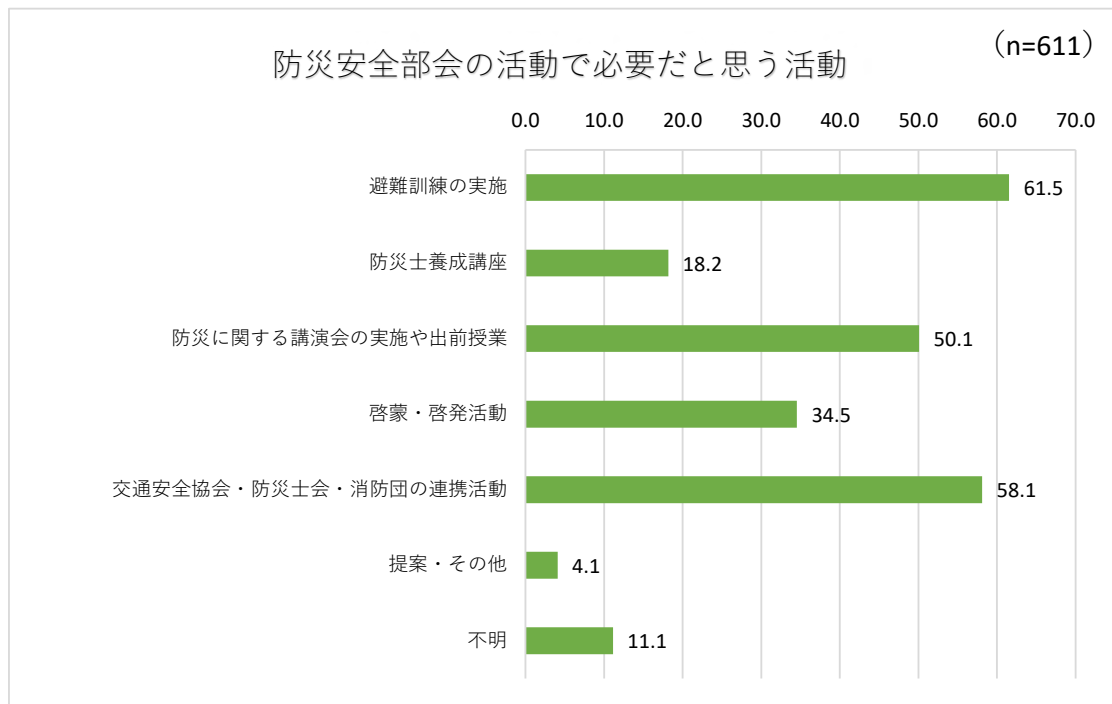
(5) 年齢



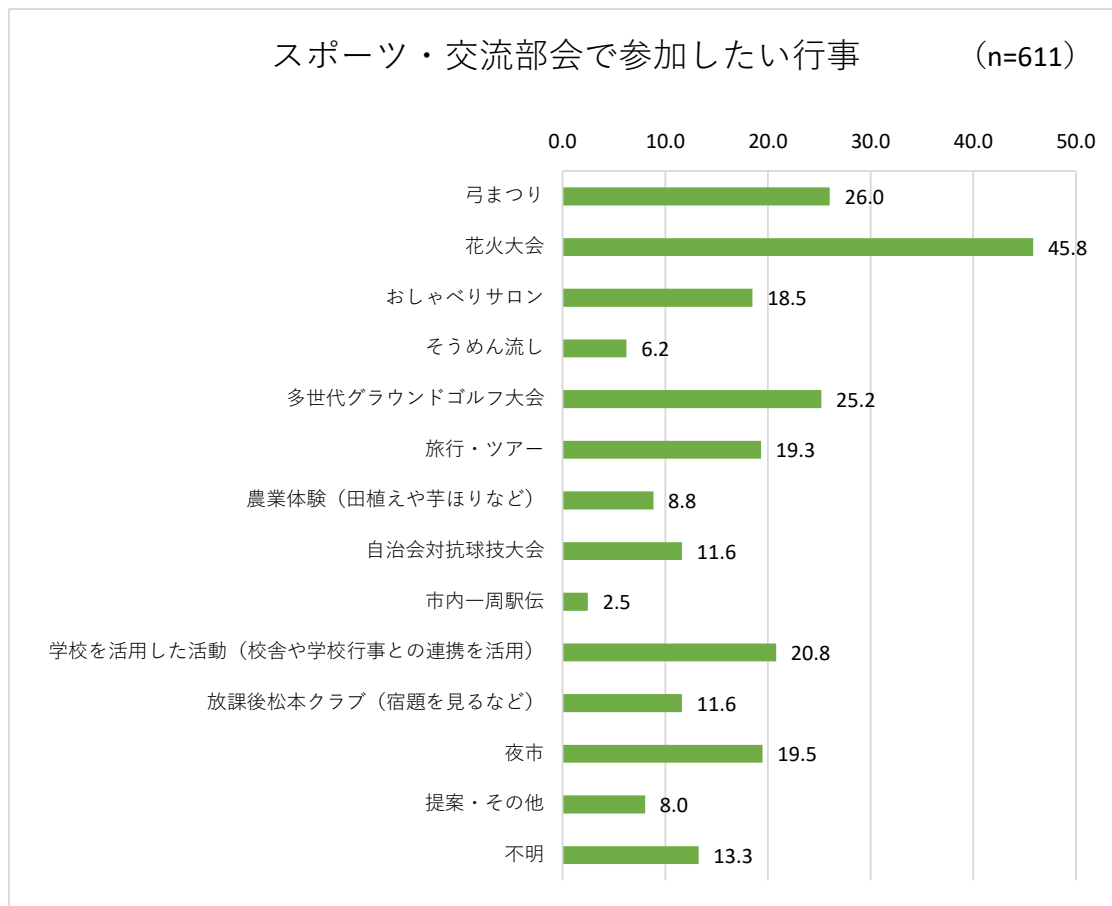
(6) 福祉部会の活動で必要だと思う活動



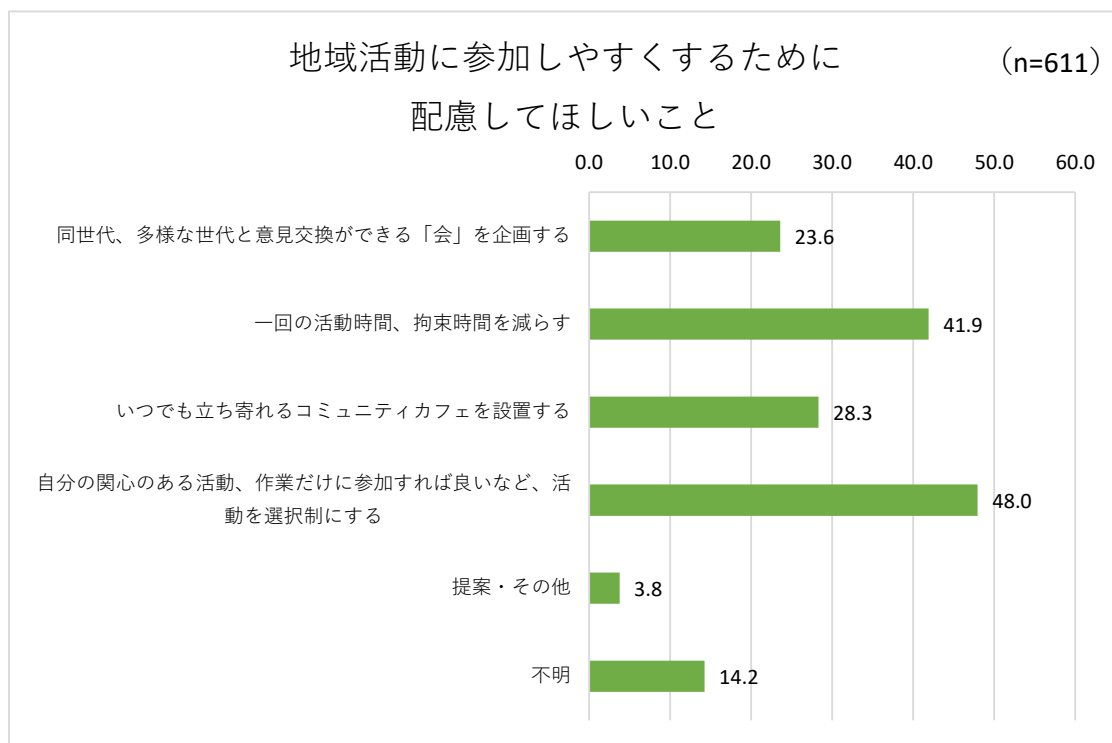
(7) 防災安全部会の活動で 必要だと思う活動



(8) スポーツ・交流部会で 参加したい行事



(9) 地域活動に参加しやすくするために 配慮してほしいこと



(10) 情報を得るための手段で 受け取りやすいもの

